

事業所用 放課後等デイサービス評価表(職員アンケート) 集計結果

職員数 9名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
① 環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	7			<ul style="list-style-type: none"> ・10名以上の利用がある時はとても狭く感じる。 ・定員の10名であれば十分である。定員を超えた場合でも限られたスペースを工夫して活用している。 ・動きの大きな利用者もいるので、少し狭いと感じる時がある。 ・利用者の特性に応じた環境づくりを限られたスペースで工夫しているが、もう少し広さがあると落ち着けることもあると感じている。 ・利用者の多い日や活動内容によっては狭く感じる時があるが、限りあるスペースを有効に使っていると思う。 ・ご利用者のメンバーによっては、手狭に感じる日がある。 ・通常であれば適切と思うが、春夏冬休みは(いいえ) ・利用者の人数が多い日は(特に集団活動時)支援室が狭く感じる時がある。 ・個別活動では、支援室以外の個室が有効に活用されている。 ・音に敏感な利用者に静かなスペースが取れない。 ・静養室、相談室はほぼ決まった利用者が使用している。
	2	職員の配置数は適切か	4	5			<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの重い利用者が多い日は職員がもう少し必要だと思う。 ・お迎えや個別支援の必要な利用者が多い日は、事業所内の職員の協力で対応している。 ・一対一の支援が必要な利用者が多い日は、受け入れからおやつの時間帯は不足と感じる時もある。 ・まずまず適切と思われる。 ・マンツーマンの利用者が多い日は、職員が不足を感じる時も多いが、かどるあつぷの全職員で協力し合い、集団・個別活動とも工夫をして何とか対応されていると思う。 ・受け入れを生活介護の職員に手伝ってもらっているので以前より落ち着いているが、職員が一人でも抜けると身動きが取れない時がある。 ・これ以上利用者が増えると危険回避が難しくなる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	8			<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に施設の設備で危険と感じるところもない。 ・コロナ禍の中でトイレと手洗い場の自動水栓とトイレの自動電気はよかったと思う。 ・配慮は適切だと思う。 ・OK ・適切だと思う。 ・施設内はフラットになっている。いざという時の避難経路がウッドデッキ側なので階段や駐車してある車の位置が気になる。(避難経路をふさいでいる)
② 業務 改善	4	業務改善を進めるために目標を設定し、反省会等の振り返りに広く職員が参画しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせで前日の利用者についての話し合いや、会議を行い話し合いをしている。 ・全ての職員が関わっている。 ・半期ごとに目標を設定し、自分の目標に対しての振り返りもしっかり行っている。仕事の意識向上につながっていると思う。 ・毎日のミーティングで、昨日の様子など支援方法を話し合い、よく参画していると思う。 ・参加していると思われるが……。 ・広く職員が参画し、それぞれに思いつく意見を出し合い業務改善に役立っていると思う。 ・始業前にミーティングを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	意見
② 業務 改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせの中で話し合いをしている。 ・アンケートで保護者の方のご意向を知り、新たに気づきを得ることができた。 ・アンケート調査から業務改善につなげていると思う。 ・アンケートを実施しており、つなげていると思われる。 ・保護者の皆さんからの意向等は、とても参考になります。 ・とても参考になり、今後の支援につながる。ありがたい。
	6	この評価の結果を事業所の会報や、ホームページ等で公開しているか	8			1	<ul style="list-style-type: none"> ・集計の結果を各家庭に配布し、ホームページにも公開した。 ・HPで公開している。 ・分からない。 ・月一回のおたよりでもホームページでの公開をお知らせしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員はいるが、第三者評価は受けていない。 ・第三者委員会の話を聞いているので、改善につなげていると思う。 ・分からない。 ・外部評価は受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でもZOOM等のオンライン研修や、職員による研修を行っている。 ・オンライン研修は、複数の職員が受講できたことで研修内容を共有し、支援の向上につながった。 ・職員の知識、技術の向上、実務能力の向上のため積極的に研修・講演等に参加していると思う。 ・コロナ禍で前年度よりも機会は減ったが、有意義な研修を受けることができた。一部の研修はリモートで行うことにより、移動等の手間もなく、参加しやすかった。 ・各種講習会に参加している様と思う。 ・コロナ禍で外部研修が中止されたため、内部研修に力を入れ行われた。また、年度中頃より、外部のオンライン研修が行われるようになり参加している。 ・コロナ禍のため外部研修はほとんどなかったが、内部研修は例年通り行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせで、意見を聞き、アセスメントを定期的に行っている。 ・定期的にあセスメントを行い、保護者のご意向も伺いながら計画を作成している。 ・担当職員が中心となり、アセスメントを行っている。 ・ミーティング時に利用者の変化があると、話し合い支援方法を考えている。 ・していると思う。 ・常に職員全体で情報共有を行っている。 ・定期的なアセスメントにより、職員全体で情報を共有し、分析した上で計画作成がされていると思う。
	10	子どもの適応行動(集団に溶け込める能力を行動で分析する)の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的な判断資料があると、適切な支援方法が見えてくると思う。 ・分からない。 ・分からない分野 ・標準化されたアセスメントツールの使用まで至っていない。 ・アセスメントは行っているが、標準化されたものではない。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	意見
③ 適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・日々よく話し合いをして分担しながら行っている。 ・担当者が立案し、ミーティングで確認している。どんどん新しいことを取り入れていきたい。 ・担当者がプランを立てたうえで、チームで意見を出し合い完成させている。 ・分からない分野 ・担当職員が立案し、ミーティング時などに職員間で話あい、アイデアを出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・月別に活動の内容を変更したり、担当を変えるなどの工夫をしている。 ・月ごとに内容や担当者を替え、利用者みんなが楽しめるような内容に工夫している。 ・毎月の活動を固定化しないように工夫していると思う。 ・様々なプログラムを工夫していると思う。 ・固定化しないように工夫しているが、極端な変更もしないように気を付けている。 ・集団活動では、月ごとに各分野の担当者を変え、それぞれに内容を工夫してとりそろえている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・平日も長期休暇も、お当番の仕事を通して、自己肯定感を育てている。どの利用者も意欲的にお当番をしている。 ・利用者の無理のないよう工夫して支援していると思う。 ・平日は短時間に取り組めるような内容の活動を設定し、長期休暇には施設外活動や外部講師による多種多様な活動を提供している。 ・様々なプログラムを工夫していると思う。 ・それぞれの過ごす時間に合わせて設定している。 ・平日は個別、集団活動をメリハリをつけ行う。長期休暇は様々なプログラムを提供し、長時間を飽きのこない内容で、また無理のないよう工夫して行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のご意見や要望も考慮し、一人ひとりの状況に応じた目標設定にしている。 ・個別支援計画はその人に合った作成になっていると思う。 ・素晴らしい計画を作成していると思う。 ・一人ひとりの状況に合わせ、活動参加ができるよう支援計画を作成していると思う。 ・個別活動・集団活動のどちらも行っている。 ・利用者本人や保護者の意向を踏まえ、発達状況にあった計画である。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・必ず行っている。 ・毎日のミーティングで当日の確認と、支援方法の統一も図られていると思う。 ・毎日ミーティングで役割分担について確認しその日の支援がスムーズに行われていると思う。 ・必ず行っている。 ・毎日行われている。 ・細かいところまで役割を分担しているのでカバーしやすい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	意見
③ 適切な 支援の 提供	16	支援終了時には職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> 必ず行っている。 支援の振り返りを行うことで支援の改善につながっている。また、職員間で利用者の情報共有ができています。 支援終了時には行っていないが、次の日のミーティングで話し合っている。 今年度から、ミーティングの時間に全員で前日の振り返りを行うようになったことで、以前よりもしっかりと情報共有ができていていると感じる。 共有している。 翌日のミーティング時に、毎日行われている。 ミーティングの際に前日の振り返りも行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9				<ul style="list-style-type: none"> 毎日の記録をもとにアセスメントにつなげている。 正しく記録している。 正しく詳しく記録している。 記録もしているが、それを元にするよりも話し合いが多い。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> 段階的に具体的な目標を設定し、スモールステップして目標に到達していけるようにしていきたい。 定期的にモニタリングを行い、支援計画に反映していると思う。 実施している。 定期的に行われている。 職員全員でアセスメントを行い、適宜目標の達成状況も確認し合っている。
	19	ガイドライン(別紙)の総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	3		2	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに目を通す必要がある。 できていると思う。内部研修でガイドラインの内容も確認している。 ガイドラインの内容をしっかりと把握できていない部分もあるので定期的に確認するよう、心がけている。 分からない。 組み合わせ合わせて支援が行われていると思う。 ガイドラインの読み合わせも内部研修に組み込んでみても良いと思う。
④ 関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			2	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者が出席しているが、他の職員も出席できる時間に会議が開かれると良いと思う。 児童発達支援管理責任者が参画している。 サービス担当者会議に出たことがないので分からない。 精通した者(児童発達支援管理責任者)が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> 分からなかった。 お便りやご利用予定表をお渡しし、情報共有に努めている。 適切に行っていると思う。 情報の共有はできていると思う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	分からない	意見
④ 関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8			1	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の指示書に沿って、看護師がケアを行っている。 ・主治医、保護者の指示書に沿ってケアが行われていると思う。 ・分からない分野 ・連絡体制は整っていると思う。 ・医療ニーズの高い利用者に関して、関係者会議等も行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・新一年生利用者については、保育園での様子を入学前に聞くことができ、役立った。 ・必要に応じて提供していると思う。 ・分からないが当然情報を共有していると思う。 ・担当相談員を通しての場合が多いようだが必要時は施設や事業所との間で情報共有が行われている。 ・相談員からの情報が主だと思われる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ事業所内の生活介護への移行なので、支援方法は引き継がれる。 ・必要に応じて情報共有していると思う。 ・分からないが親切に情報を提供していると思う。 ・担当相談員と情報を共有し、相談員から事業所へ報告されているケースが多いと思われる。 ・相談員と情報を共有し、次につなげている。
	25	児童発達支援センター(ひまわり学園)、子ども発達相談室や発達障害者支援センター(ライズ＝はまぐみ内)等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・はまぐみのPTの先生の研修を受けたことがあるが、とても勉強になった。またそういう機会があるといいと思う。 ・必要に応じて情報共有していると思う。 ・分からない。 ・児童部会での情報をもらっているが、利用にならないと細かいところまでは分からない。 ・必要な時はいつでも相談できる体制を整えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	1		7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は交流の機会が持てたが、コロナ禍のため難しいと思う。 ・交流はしていない。 ・していないと思う。 ・コロナ禍で一緒に活動等はなかった。 ・公園で、近隣の児童と一緒に遊ぶ等の機会はある。 ・交流の機会があれば参加してみても良いと思うが、一般校の児童に当てはめると複雑な気もする。
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	5		1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・招集があれば毎回必ず参加している。 ・児童発達支援管理責任者の会が定期的に開催されることになり良かった。 ・報告書にて内容を確認している。 ・分からない分野 ・児童発達支援管理責任者、相談員が参加し、報告書で回覧している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	分からない	意見
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートやお迎えの時に保護者の方にご利用の様子を詳しくお伝えしている。様子については良いことを伝えるように心がけている。 ・お迎えの時に保護者とのコミュニケーションをとり、様子をお伝えしている。 ・担当した職員が状況をお伝えすることで、より正確な伝え合いができていると感じる。 ・分からないが見ていると共通理解を持っていると思う。 ・連絡ノートで利用状況をお伝えし、お迎え時にも保護者の方と会話を持っている。 ・担当した職員が迎えの保護者に出来事を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修会や講演会等の情報を提供しているか	8				<ul style="list-style-type: none"> ・案内を配布したり、お便りの中でお知らせしている。 ・お知らせや行事の案内は提供している。 ・保護者への研修会や講演会の情報提供していることがある。 ・毎月のおたよりに載せたり、案内チラシを配布したりしている。 ・情報提供し、参加して頂いている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている。 ・契約時に説明を行っていると思う。 ・分からない。 ・契約時に説明されている。
⑤ 保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・親身になって応じている。 ・お迎えの時に保護者の方との会話を大事にしている。話したい保護者の方もいらっしゃるの、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。 ・お迎え時などで親身になって話を聞いている様子が伺える。 ・電話や玄関等で助言や支援をしているのをよく見聞きする。 ・直接迎えに見えるので、話しやすい時間の間は取りやすいと思う。丁寧に対応できていると感じる。 ・悩み事等、話し易いように、常のコミュニケーションを大切にしていると思う。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8				<ul style="list-style-type: none"> ・行っているが参加者は少ないと思う。 ・カフェを開放したくさんの方に喜んで頂けた。カフェを活用できて良かった。 ・お迎えの時に少し時間を頂き、茶話会を行った。 ・分からないが支援していると思う。 ・お迎え時の少しの時間に保護者同士や職員も交えての茶話会を数日間開催したくさんの方に参加して頂けた。 ・コロナ禍で茶話会ができないが、楽しみにされている保護者もいてくれるようでありがたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・苦情箱を設置している。 ・保護者の方との信頼関係を築くことが大事だと思う。 ・事故などがあった場合は、積極的、対応していると思う。 ・折によって適切に対応しているの見聞する。 ・適切に対応されていると思う。 ・苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置 苦情件数の公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	意見
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお便りを楽しみにしていただいている。ブログでも紹介しているが、「マチコミメール」配信のほうが、保護者の方に伝わりやすいと感じる。 ・毎月おたよりを発行している。 ・きめ細かく発信している。 ・毎月のおたよりや、大きな行事はその都度文書での発信を行っている。 ・不定期ではあるが、ホームページやマチコミでも情報発信が行われている。 ・おたよりやマチコミも活用されている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・個人の記録は見えないようにしている。 ・申し送り事項はメモで職員に伝えている。 ・個人情報の適切な取り扱いに十分注意している。 ・十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達がしやすいように配慮をしているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード等を使用し、視覚支援を行っている。 ・一人ひとりに合わせた視覚支援ができるようになってきたし、効果も見られるようになってきた。 ・利用者の特性に合った方法を職員で話し合っている。 ・よく配慮している。 ・いろいろなコミュニケーションツールを使用し、対応している。 ・利用者の特性に合わせ様々な工夫をしている。(絵・写真カード、スケジュール表等)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェの開放を行っている。 ・長期休みの時に音楽や体操の先生やボランティアの方をお呼びして、子どもたちと交流をしている。 ・分からない。 ・今年度はコロナウイルスの影響もあり、難しかったと思う。 ・分からない。 ・コロナ禍で活動が停止している。 ・通常であればレンタルスペースを活用し、地域の方との活動が行われている。
⑥ 非常時 の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	3			<ul style="list-style-type: none"> ・周知ができているのか分からない。 ・内部研修で職員に周知しているが、アンケートの結果によると、保護者への周知は不十分であるとわかった。 ・マニュアルを元に研修を行っている。 ・連絡先に古いものもあるので、緊急時に備えて更新し、まとめる必要があると感じる。 ・折に触れ研修(内部)している。 ・職員には、すべての項目ではないがマニュアルに基づいた内部研修を行い、周知している。 ・保護者の皆様には、おたよりでマニュアルのあることはお知らせしている。 ・保護者に対しては周知されていないと思われる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 ・年間計画に基づいた訓練を行っている。 ・定期的に行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	分からない	意見
⑥ 非常時 の 対応	40	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	9				<ul style="list-style-type: none"> 内部研修を行い共通理解ができています。 内部研修を行い周知しています。 内部研修を行い対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> できている。 必要と考えられる利用者には、保護者に承諾を得て個別支援計画に記載している。 必要と考えられる利用者には保護者に承諾を得ている。 研修(内部)等で、勉強しており記載していると思う。 現在は拘束が必要な利用者はいない。 保護者に説明、同意の上、拘束の状況等を記録している。必要がなくなれば拘束解除を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 対応できている。 おやつを提供する際、小麦アレルギーの利用者に配慮している。 食物アレルギーは職員全員で共有し把握していると思う。 常々そういう対応をしている。 アレルギーの有無をリストアップし、それに基づき食物を準備している。 家族からの情報はありますが、医師の指示書はない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> 作成し、回覧している。 共有できている。 回覧し、必ず目を通すようになっている。 十分共有している。 定期的に集計~報告されている。
		回答数 387 (9人×43項目)	305	31	15	36	
		%	78.8	8.0	3.9	9.3	

実施月 令和3年 3月

【自由記載】

- ・利用者の情報を職員間で共有することで、支援の方向性が確認でき、支援者が違っても同じ支援ができるようになってきた。また、利用者一人ひとりの対応を、みんなで話し合うことができるようになった。職員のまとまりが、利用者の心の安定と、いい支援につながっていると思う。
- ・有田先生やスクールカウンセラーの先生からアドバイスを伺えたり、オンライン研修で複数の職員が受講できる機会があり、実践につながっている。また、職員の意識も向上することができた。これからも、このような研修があるといい。
- ・利用する子どもの支援だけでなく、保護者の方にとっても支えになるような温かい事業所として継続していきたい。
- ・相談室の改修、トイレ奥の手洗い場の撤去等により、以前より使いやすくなったと感じています。また、大型テレビを設置したことで、活動の幅も広がり、ご利用者同士の密も抑えられたと思います。
- ・4月から日中一時支援の利用者が増えるという噂を聞いています。放課後デイの利用者が医ケア室をどの程度利用できるのか、生活介護職員は送迎に出してしまうため、看護師一人でも大丈夫なものなのか、部屋割りに不安がある。